

平成24年度 保健・看護分科会 情報交換会アンケート結果

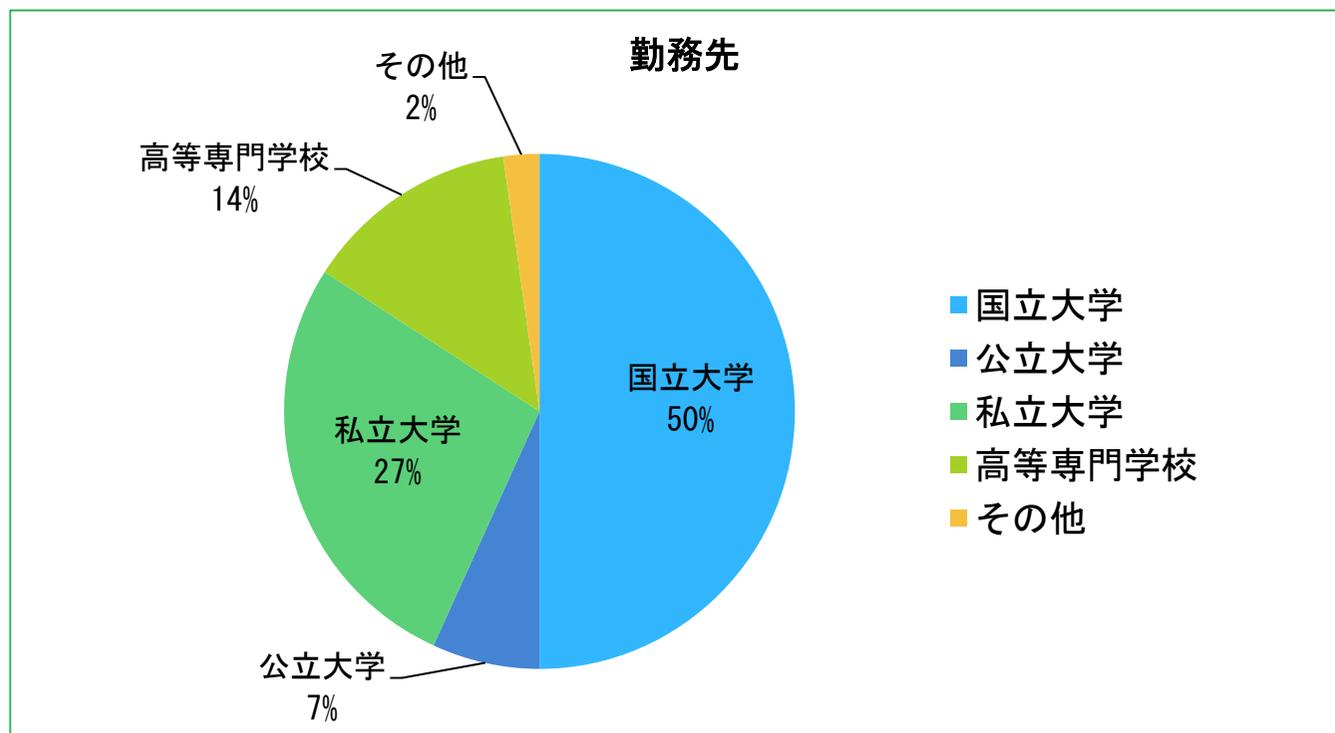
情報交換会アンケートは、44名の方
から回答がありました。

ご協力ありがとうございました。



2012.9

あなたの勤務先は？

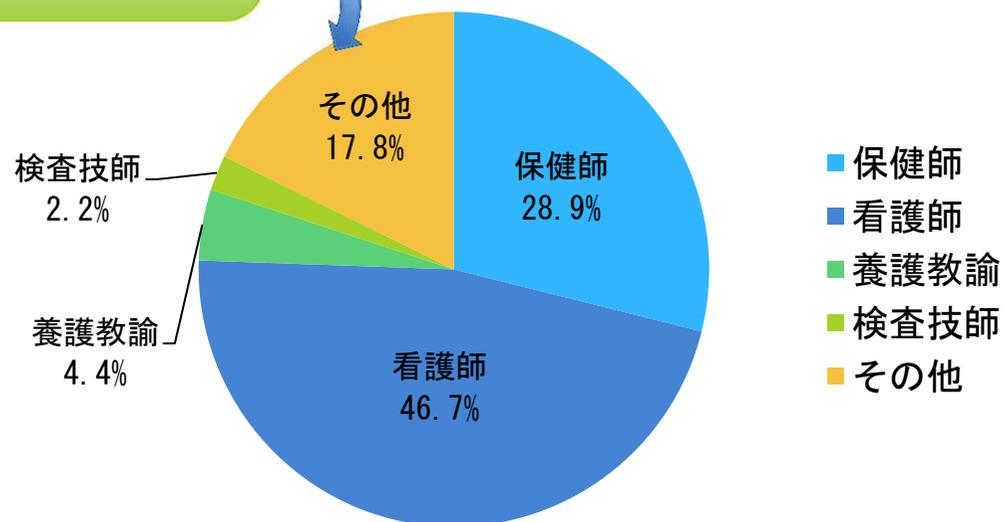


あなたの職種は？

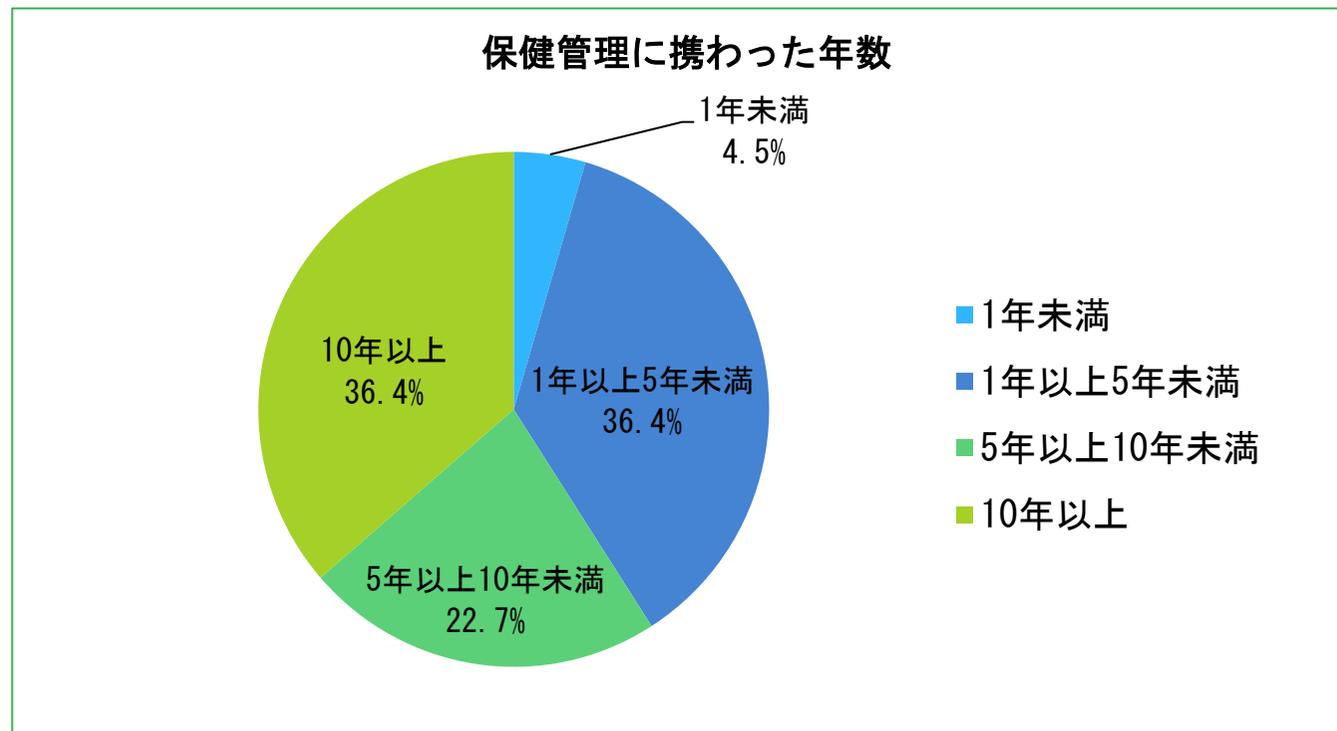
◎その他の職種の方◎

- ・臨床心理士…2
- ・事務…1
- ・助産師…1
- ・非常勤嘱託員…1
- ・未記入…3

職種



保健管理に携わった年数は？



情報交換会の感想は？①

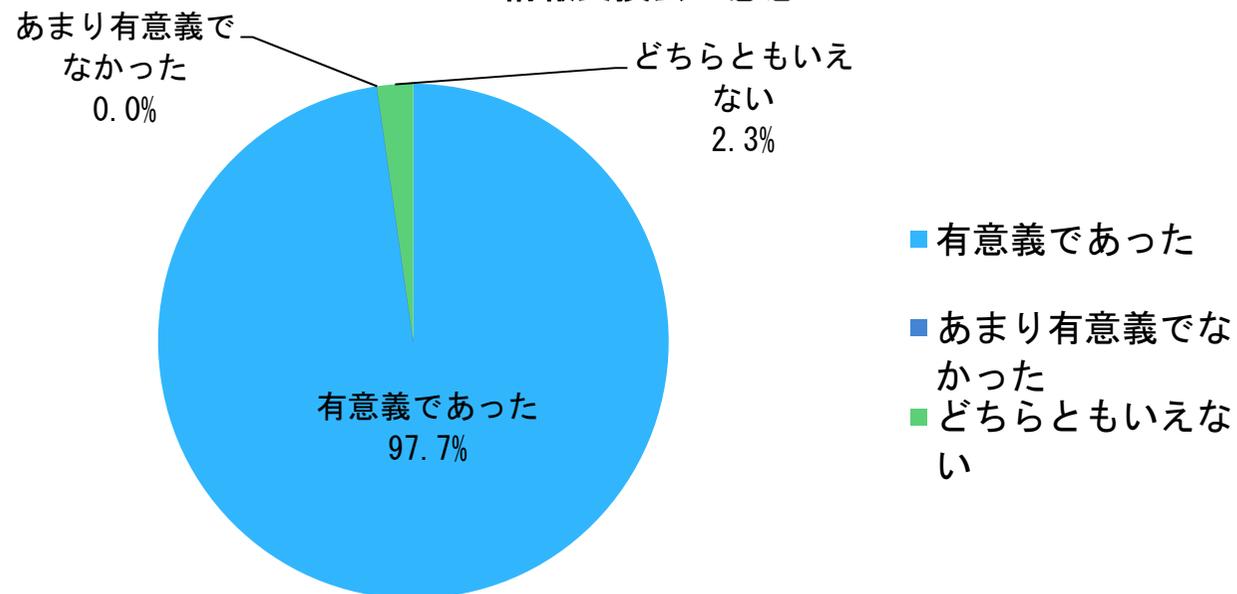
情報交換会：講演形式

演題「発達障がいのある学生をどう理解し、どう支援しますか？」

講師 香川大学教育学部特別支援教育講座准教授 坂井 聡先生

開催時間：16：00～18：00

情報交換会の感想



情報交換会の感想は？②

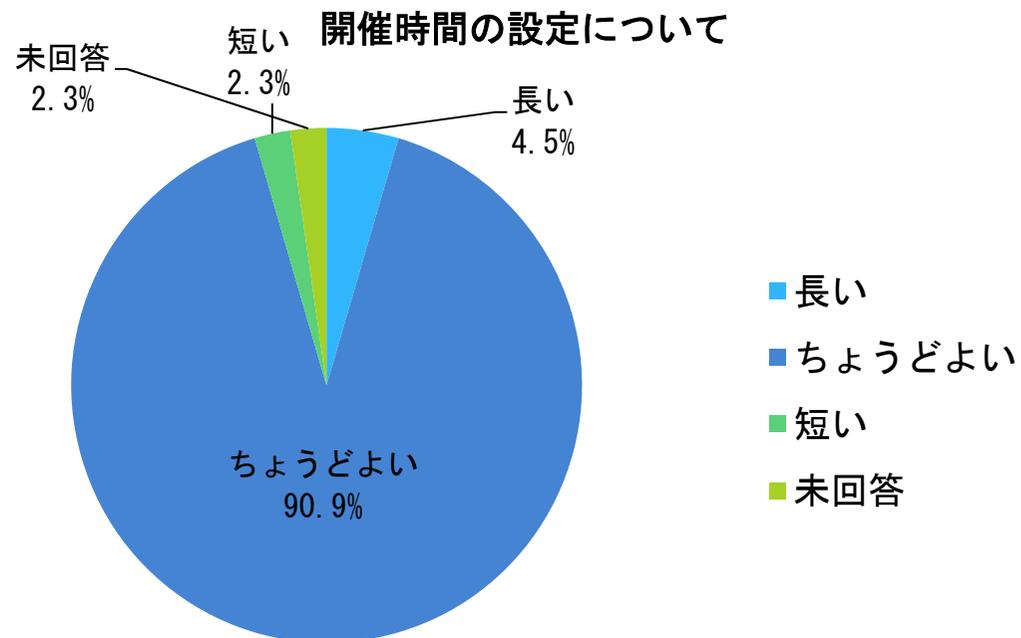
記入いただいた意見の抜粋

- 具体的な支援方法を教えていただき、大変わかりやすかった、勉強になった・・・15
- 話がとにかく楽しかった。元気になりました。やる気はあるのでもっともっと技術を磨いて勉強して愛情をもって学生・教職員・家族にかかわっていきたいと思った…1
- 保健管理センターとしての立ち位置を明確にしていただくことができた。今まで聞いた発達障がいの話とは違う観点で講師の話がおもしろく、ひきつけられた。あっという間の120分だった…1
- 実際に関わるときの視点をかえていけそう、接し方に生かせる…3
- とても分かりやすく、教職員に聞いてもらいたい内容だった…1
- 体を使ったり、参加型の講演で、引き込まれた…2
- 頭の中にイメージがどんどん浮かんできて、ぐいぐい引き込まれていく感覚だった。難しい内容なので、聞いても自分にはあまり理解できないだろうとどこかで感じていたがとてもわかりやすく、臨場感があり、楽しい講演だった…1
- 講演の中にクイズ等参加型の内容を入れていただき、理解が深まった。支援のあり方・工夫について実践的な講演で良かった…1
- あっという間の2時間だった…2
- 先生のお話がとても分かりやすく、おもしろく、大変参考になった。ただ現場で適用できるかについては正直難しい…1
- 日々の業務の中でかなりシビアな学生を対応しているので、先生の話のようにテンポよく考えられることばかりではないと感じた…1

開催時間の設定は？①



今回の情報交換会の開催時間：16：00～18：00

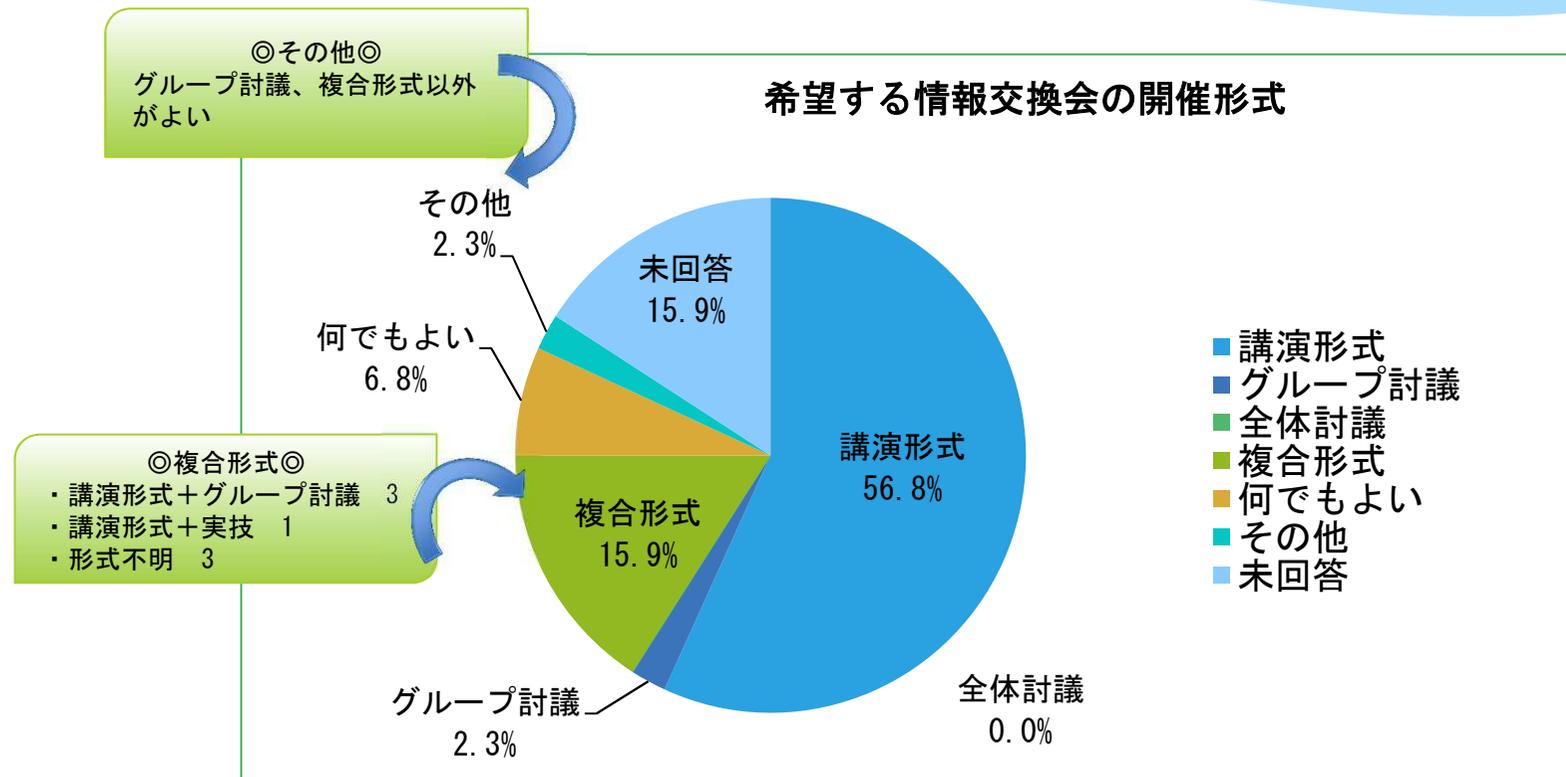


開催時間の設定は？②

記入いただいた意見の抜粋

- 坂井先生ならもう少し長くてもよいくらい
- 2時間があっという間に終わった
- 講演時間は長いと思いましたが、坂井先生がこちら側に話を向けてくれたりと参加している感じが強く、お話も楽しく、実際にはちょうど良かった
- 17：30くらいまでにしてほしい
- 通常の講演であれば2時間は決して短くはないのかなと感じた
(今回は短く感じてしまいました)
- 設定時間が長い気がしたが、実際は内容もよかったのでちょうどよかった
- 長さは良いが開始時間を早くしてほしい。前は1時間くらい早く始まっていたと思う

来年度の情報交換会について①



来年度の情報交換会について②

記入いただいた意見の抜粋

- 学生や職員のデータ管理方法など知りたい…1
- 発達障がい学生への対応（就労支援、坂井先生のお話）について…6
- メンタルヘルスの中の心理療法について…1
- 学生対応に関すること…1
- 学校保健とか労働安全法など 法律の読み取りについて…1
- 様々な身分の留学生が増えているため、健康診断をいつ、どの範囲まで行うのか？入学時の健康診断書をどのように取り扱うのか？（胸部レントゲンも含めて）知りたい…1
- ボーダーラインの人への対応について…1
- 保健指導に関してどのようにつたえていけば学生さんの心に残るかについて…1
- 約2時間という制限があるが、日常業務・その他困りごとなどについてグループ討議ができるとよと感じた（MLの活用ができるようになりましたが・・・）…1
- 教職員に対するメンタル支援（学内でのサポートシステム）など…1

来年度の教育講演について

記入いただいた意見の抜粋

- てんかん、めまい、骨そしょう症…1
- 発達障がい学生への支援を学内でどう整備しておくのかについて
(今後支援要の入学生が増えていくため) …1
- 看護職も含め学生にも指導・適応できるストレス対処法などについて…1
- 最新の医療方針や保健体制支援など、若者の考え方…1
- 留学に出す、留学生を受け入れる際のリスクマネジメント…1
- いじめ問題について…1
- アレルギー疾患の最新情報…1
- 不登校学生に対する支援の在り方…1
- 労働安全衛生的な職員への支援など…1
- 低体温の傾向（影響と改善策）…1
- 尾木直樹先生の「教育について」（もし、教育の現場から見た保健室（ほけかん）の役割、学生からみたホケカンの役割についてなど別の先生で得意となさる方がいればそういった講演も聞いてみたい）…1
- 休職し、復職する職員への支援や対応…1
- 看護職が行う創傷等の処置（擦過傷・打撲・捻挫・骨折・火傷など）…1

ご意見・ご要望等

記入いただいた意見の抜粋

- 内容が多様でとても勉強になった
- 応急処置の体験プログラムがあればいいと思う
- 有意義な時間を与えていただきありがとうございました
- グループ討議など個人個人が緊張を伴う場面を作るのはやめてほしい（その場合は参加したくない）
- 研究集会のお知らせをホームページに提示の時に施設（大学）へ提出できる表現にしてほしい
- 初めて参加させていただきましたが、貴重な経験をさせていただきました



おわりに

平成25年度 中国四国保健管理研究集会（当番校：山口大学）は、山口大学 大学会館にて8月28日（水）～30日（金）に開催予定です。

多くの方のご参加をお待ちしております！

湯田温泉キャラクター
ゆう太くとゆう子ちゃん



源泉が見学できる温泉舎

ザビエル記念聖堂



湯田温泉駅前

山口大学正門



山口大学正門近く長州五傑石碑



山口大学正門近く大賀ハス



国宝 瑠璃光寺 五重の塔



湯田温泉駅前の足湯



共育の丘